

資源物の分け方と出し方Q&A (長岡・越路・三島地域)

●新聞、雑誌・チラシ、段ボールの分け方と出し方

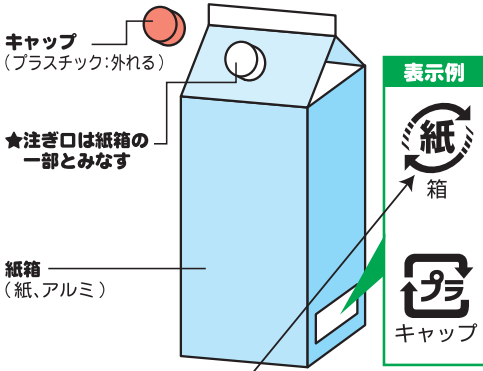
Q 小さい紙は、どのようにして出すの？

A 雑誌や二つ折りのチラシにはさむか、古封筒に入れて、雑誌・チラシと一緒にひもで縛って出してください。

Q マークのある紙製のヨーグルトの容器や牛乳の紙パックは「雑誌・チラシ」として出しているの？

A 紙マークがあっても、耐水加工されている紙は、「燃やすごみ」です。牛乳パックは、リサイクル協力店の店頭回収に出しましょう。

例：飲料水やお酒のパック



紙マークがあっても、耐水加工されていたり、アルミ箔が貼ってあるものは、「燃やすごみ」になります。



■新聞



■雑誌・チラシ



■段ボール



■悪い例

Q ポリ袋や大きな紙袋に入れて出しているの？
A ポリ袋や紙袋には入れないで、新聞と雑誌・チラシと段ボールの3種類に分けて、必ずひもで縛って出してください。(雨や雪の日でも袋には入れない)

●枝葉・草の分け方と出し方

Q 冬囲いで使った角材や丸棒は「枝葉・草」として出しているの？

A 加工されたもの(角材、丸棒、合板、木製家具等)は、「燃やすごみ」または「粗大ごみ」です。

Q 大根や白菜の葉は、「枝葉・草」として出しているの？

A 畑の作物や調理くずは、「燃やすごみ」です。

Q 「枝葉・草」の収集日に、枝豆やしその茎が大量に出されていることがあります。枝葉・草の収集やリサイクルに問題はないの？

A 大量の茎やつるが出されると、収集に支障をきたすだけでなく、ごみステーションを使用している町内会の皆さんにも大変な迷惑をおかけすることになりますので、家庭菜園から出た茎などは、できるだけ肥化容器などを使い、ご自分の敷地内で「自然に還す」ようにお願いをしています。

なお、平成20年4月に長岡市全域のごみと資源物の分け方と出し方を統一する際に茎やつるなどは、たい肥化することを原則とし、枝葉・草としての収集を止めることを検討しています。

たい肥化したものは畑の肥料にリサイクルできるよ



Q 草についている土や小石はどうすればいいの？

A 土や小石はできるかぎり取り除いてください。これらが「枝葉・草」に混ざると有機肥料や培養土にリサイクルすることができません。

●スプレー缶、カセットボンベ、ライターの分け方と出し方

4月からスプレー缶、カセットボンベ、ライターの分別収集を始めましたが、中身のガスが残ったままの缶やボンベがあります。

収集作業時の火災事故の原因となりますので、スプレー缶やカセットボンベは必ず中身を使い切り、風通しの良い屋外で、容器に穴をあけてガスを抜いて出してください。

ガスを抜いて！



毎年10月はマイバッグキャンペーン月間です！



買い物袋の持参やレジ袋を繰り返し使って、不要なレジ袋はもらわないようにしましょう！

無駄な包装は断って、簡易な包装の商品や環境にやさしい商品を選ぼう！

